

Eco action 21

環 境 活 動

レポ ー ト

対象期間 令和4年11月から令和6年3月まで

令和6年9月6日

アーバントラスト有限公司

<http://www.urban-trust.co.jp>

目 次

表紙

目次

1 環境経営方針	P1
2 組織の概要《認証・登録の範囲及び実施体制を含む	P2 P3 P4
3 環境経営目標、その実績および評価	P5
4. 1 環境経営計画、取組結果の評価、次年度の取組	P6
4. 2 次年度の環境経営目標	P7
5 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	P7
6 代表者による全体評価と見直し・指示	P8
別紙資料1 許可の内容	P9
別紙資料2 保有車両一覧	P10
別紙資料3 処理系統図	P11
別紙資料4 受託した産業廃棄物の処理量 事業系一般廃棄物運搬量	P12
別紙資料5 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	P13
別紙資料6 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	P14

1《環境方針》

【基本理念】

アーバントラスト有限会社は、資源のリサイクル化及び減容による埋立地の延命化の役割を担っており、かけがえのない地球環境保全に貢献することを使命としています。また、環境に安全な施設を駆使し、次の目標に向けて最善の努力をもって廃棄物収集運搬及び中間処理の事業を行っていきます。

【環境経営方針】

アーバントラスト有限会社は、産業廃棄物処理業者として、産業廃棄物の適正処理を行うと共にリサイクル品再生を深く追求し、資源の有効利用と最終処分量低減を目指します。また全社員参加協力して地球と地域の環境保全に努めます。

- * 事業を通じた地球環境保護
全ての事業活動において、地球環境の保護に寄与できるよう努めます。
- * 環境への負荷を軽減
資源・エネルギーの効率的利用を図り（目標値を定め）消費や排出状況をチェックして環境への負荷を認識し軽減を図ります。
 - ①二酸化炭素排出の削減
 - ・石油エネルギー資源（軽油・ガソリン）の削減
 - ・電力使用量の削減
 - ②水道使用量の削減
 - ③リサイクル率の向上
 - ④紙類の使用量の削減
- * 環境関連法規などの遵守
環境関連の諸法規などを遵守します。
- * 社員の環境教育の推進
社員の環境に関する理解と意識の向上を図るため、社内研修会を行います。
- * 継続的環境改善の実施
環境管理システムを適正に維持管理するとともに目的・適正管理・目標を設定し、取組結果を見直すことにより継続的に環境経営の改善に取り組みます。
- * 環境啓発活動の推進
環境活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境保護に関する取組の状況について情報の提供を行うとともに、啓発、教育活動を推進します。

制定日 平成18年10月1日

改定日 令和3年1月1日

アーバントラスト有限会社

代表取締役 森谷 行秀

2 《組織の概要》《認証・登録の範囲》《実施体制》

1) 社名及び代表者氏名

アーバントラスト有限公司

代表取締役 森谷行秀

2) 事業所所在地

本社工場	横浜市金沢区幸浦2-4-6
エコプラント	横浜市金沢区幸浦2-3-6
第二工場	横浜市金沢区幸浦2-5-8

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	営業部	佐久間 賢(環境管理責任者)
担当者	業務部	太田 幸雄
連絡先		アーバントラスト有限公司
電話		045-782-0039
FAX		045-782-0030
e-mail		m-sakuma@urban-trust.co.jp
URL		http://www.urban-trust.co.jp

4) 事業活動の内容

法人設立年月日	平成2年11月30日
資本金	500万円
売上高	1,629百万円
組織図	別紙資料1添付

5) 許可内容

別紙資料2添付

6) 認証・登録の範囲

全組織・全活動・全従業員を対象としている。
対象組織 本社工場、エコプラント、第二工場
事業活動 一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業及び中間処理

7) 施設等の状況

運搬車両の種類と台数 別紙資料3添付

積替え保管施設 保管面積 24.24m²
保管上限 7.2m³

処理施設の種類の ①破砕施設 1基 (7.16t/日)(混合での能力)
②好気性分解施設 2基 (0.5t/日)
③圧縮1施設 1基 (188t/日)
④溶融施設 1基 (0.54t/日)
⑤破砕2施設 1基 (4.88t/日)
⑥圧縮2施設 1基 (4,605.6t/日)
⑦圧縮3施設 1基 (18t/日)
⑧破砕3施設 1基 (24.72t/日)

処理する産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず
ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、動植物性残さ

8) 廃棄物処理フロー工程表

別紙資料4添付

9) 事業の規模

活動規模	単位	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
中間処理受入廃棄物	t	18,207	16,049	19,235	18,834	22,870
産業廃棄物収集運搬量	t	13,655	12,037	14,427	14,126	17,416
一般廃棄物収集運搬量	t	7,273	6,638	5,484	6,815	8,274
リサイクル率	%	96	97	98	98	99
従業員数	人	68	68	68	68	68
保有台数	台	25	25	25	25	25

廃棄物処理量の詳細は添付資料5に示す。

① 収集運搬量

アーバントラスト(有)が排出業者から収集運搬した廃棄物量
※最終処分場及びリサイクル施設への運搬量も含む

② 中間処理受入廃棄物

アーバントラスト(有)及び他社からのアーバントラスト(有)中間処理場への品目別受け入れ廃棄物量

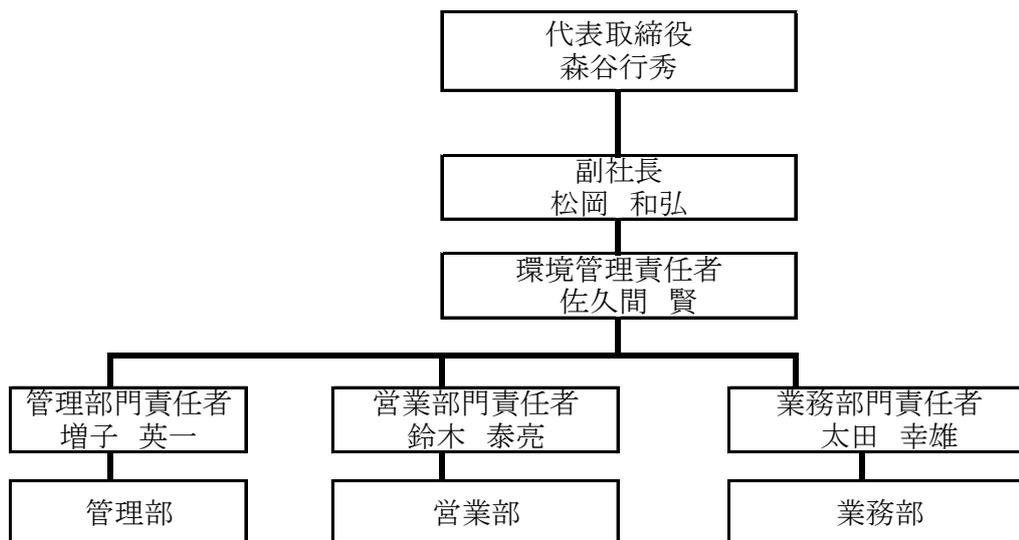
③ リサイクル率

アーバントラスト(有)中間処分場から品目別の中間処理後のリサイクル率

10) 処理実績

別紙資料5添付

11)環境管理実施体制



役職	責任および権限
社長 森谷 行秀	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 2. 環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する 3. エコアクション21を運用、維持し、環境経営を実践するために効果的な実施体制を構築する。 4. エコアクション21を運用し、維持するために経営資源を用意する 5. エコアクション21に基づく環境経営全体の取り組み状況及び効果を評価し総括的な見直しを実施し、必要な指示を行う。 6. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者 佐久間 賢	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営システムの確立、実施および維持するための処置 2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告 3. 諮問機関である環境管理委員会の委員長として委員会の運営 4. 推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営 5. EA21等の環境経営についての教育・訓練の計画・実施責任者
副社長 松岡 和弘	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各部門責任者との連携を図りの環境管理責任者と実施および運営 2. 社内情報の外部公開可否決定
業務部門責任者 太田 幸雄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務部門の環境経営システムの総括責任者 2. 業務ドライバー、作業員に対し、環境経営システムの教育及び実施
営業部門責任者 鈴木 泰亮	<ol style="list-style-type: none"> 1. 営業部門の環境経営システムの総括責任者 2. 営業、事務員に対し、環境経営システムの教育及び実施
管理部門責任者 増子 英一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理部門の環境経営システムの総括責任者 2. 事務員に対し、環境経営システムの教育及び実施
社員、従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎朝の朝礼、ミーティングなどで情報を確認共有して実施していく 2. 声を掛け合いコミュニケーションを大事にして、実施していく

3. 《環境経営目標、その実績および評価》

(1) 令和5年度の環境経営目標及び中期環境経営目標

環境目標	単位	令和4年度 実績(基準)	令和5年度 目標	令和6年度 目標	令和7年度 目標
電力原単位 (受け入れ量当り)	kwh/t	6.38	6.44	6.44	6.44
燃料原単位 (運搬量当たり)	ℓ/t	25.5	26.4	26.4	26.4
水使用量削減 一人当たり水使用量	m3/人	15.9	16.0	16.0	16.0
廃棄物埋立量削減 リサイクル率向上	%	99.6	95.0	97.0	99.0
廃棄物排出量削減 紙購入量削減	kg/年	560	564	564	564
毎日朝礼の実施	%	100	100	100	100
始業点検の実施	%	100	100	100	100
環境教育の充実(毎月実施)	%	100	100	100	100
外回りの清掃毎月実施	%	100	100	100	100

化学物質の使用はない。

(2) 令和5年度の環境経営目標、実績、評価

	単位	令和4年度 実績	令和5年度 目標	令和5年度 実績	結果及び評価
受入量当たり電力原単位	kwh/t	6.38	6.44	6.35	○
電力使用量	kWh	120,175		145,315	処理量が増大したため、稼働率が向上し、電力使用量がそれほど増えなかった。設備の始業点検が効果あったと考える。 また事務所では昼休みパソコン電源を切った
電力CO2排出量	kgCO2	54,919.98		64,274.78	
処理量	t	18,834		22,870	
運搬量当たり燃料原単位	ℓ/t	25.5	26.4	26.0	○
化石燃料使用量	ℓ	360,541		446,740	運搬量の増加があり、積載率が向上した ・アイドリングストップの周知徹底 ・タコメーターによる過度なスピードの管理 ・分別ヤードのスペースを増やした
化石燃料CO2排出量	kgCO2	928,633.18		1,149,261.46	
廃棄物収集運搬量	t	14,126		17,153	
従業員1人当たり水使用量	m3/人	15.9	16.0	21.2	○
水使用量	m3	1,079		1,442	水使用量の制限により、最低量を維持している
従業員数	人	68		68	
リサイクル率	%	99.6	95.0	99.0	○
廃棄物受入量	t	18,834		22,870	再資源化の基準が厳しくなったため、廃棄品が増えた ・分別する廃棄物の再確認
廃棄物再資源化量	t	18,767		22,855	
廃棄物排出量削減 紙購入量削減	kg/年間	560	564	796	○ 計画的に購入
毎日朝礼の実施	%	100	100	100	安全運転、エコドライブなど
始業点検の実施	%	100	100	100	機械、重機の保守
環境教育の充実(毎月実施)	%	100	100	100	省エネ、安全、業績などと一緒に
外回りの清掃毎月実施	%	100	100	100	横浜型地域貢献企業

化学物質の使用はない。

電力のCO2排出係数は 0.443CO2-kg/kWh (令和4年東京電力)

CO2排出量 総量 1,213,536.24kg-CO2

4. 1《環境経営計画及び取り組み結果の評価、次年度の取り組み》

環境目標	環境活動 取り組み項目	責任者	スケジュール	評価効果有無	次年度取組
	・冬場は着込み、夏場は薄着にする	佐久間	冬・夏	有	○
二酸化炭素排出の削減	・機械待機消費電力の節減		稼働時	有	○
電力使用量の削減	・中間処理場受入時間の短縮		毎日	有	○
	・昼休み時・残業時の不要電気の消灯励行		毎日	有	○
	・ノー残業デーの励行(毎週土曜日)		土曜日	有	○
評価:○					
	・車輛運転記録簿による記録管理の徹底	太田	毎日	有	○
二酸化炭素排出の削減	・エコドライブの実施		毎日	有	○
燃料使用量の削減	・クールビズ・ウォームビズの実施		冬・夏	有	○
	・スピード超過禁止、車間距離の保持の実施		毎日	有	○
	・ドライブレコーダー導入(運転状況の把握)		毎日	有	○
	・施設周辺は自転車・徒歩を使用		毎日	有	○
評価:○					
水道使用量の削減	・車両の洗車時間を短縮した	太田	洗車時	有	○
	・噴霧器使用する時にこまめに散布した		毎日	有	○
	・定期的な漏水チェックの実施		土曜日	有	○
	・極力、食器洗い洗濯はまとめて実施		毎日	有	○
評価:○					
	・中間処理場での選別の徹底	太田	毎日	有	○
廃棄物最終処分量削減	・工場スタッフのリサイクル品目の指導		月1回	有	○
リサイクル率向上	・回収時による積載方法の仕分回収		毎日	有	○
	・リサイクル品目の拡大		随時	有	○
	・リサイクル施設の開拓		随時	有	○
	・顧客への分別の協力依頼のチラシを配布		年1回	有	○
評価:○					
	・FAXをメールで送る	太田	毎日	有	○
廃棄物排出量削減	・無駄なコピーをしない		毎日	有	○
紙購入量削減	・印刷時に両面コピーをする		毎日	有	○
評価:○					
グリーン購入の 推進	・インターネット調査	太田	週1回	有	○
評価:○					
毎日朝礼の実施	・エコドライブの周知徹底	太田	毎日	有	○
始業点検の実施	・管理者立会のもと運行前点検を実施		毎日	有	○
環境教育の充実(毎月実施)	・アイドリングストップの実施		月1回	有	○
外回りの清掃毎月実施			月1回	有	○

4.2 次年度の環境経営目標

環境目標	令和4年度 実績(基準)	令和5年度 実績(参考)	令和6年度 目標	令和7年度 目標	令和8年度 目標
二酸化炭素排出量(電力) (受け入れ量当り) kwh/t	6.38	6.35	6.44	6.44	6.44
二酸化炭素排出量(電力) (総量) kwh	120,175	145,315	120,000	120,000	120,000
二酸化炭素排出量削減(燃料) (運搬量当たり) ℓ/t	25.5	25.7	26.4	26.4	26.4
二酸化炭素排出量削減(燃料) (総量) ℓ	360,541	446,740	360,000	360,000	360,000
水使用量削減 一人当たり水使用量 m3/人	15.9	21.2	16.0	16.0	16.0
水使用量削減 総量 m3	1,079.0	1,442.0	1,085.0	1,085.0	1,085.0
廃棄物埋立量削減 リサイクル率向上 %	99.6	99.0	97.0	99.0	99.0
廃棄物排出量削減 紙購入量削減 kg	560	796	564	564	564
毎日朝礼の実施 %	100	100	100	100	100
始業点検の実施 %	100	100	100	100	100
環境教育の充実(毎月実施) %	100	100	100	100	100
外回りの清掃毎月実施 %	100	100	100	100	100

化学物質の使用はない。

5 《環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無》

環境経営方針にも掲げましたが環境に関する諸法規については、遵守して事業活動を行っています。

関連法規の遵守状況について過去3年間下記のとおりチェックリストで確認しました。また各行政からの指導、許可取り消し等についても過去5年間は、ありませんでした。

主な環境法規等

○遵守

内 容	遵守評価結果				
	平成31年10月	令和2年10月	令和3年10月	令和4年10月	令和5年10月
関連法規					
※ 廃棄物処理法	○	○	○	○	○
※ 騒音規制法	○	○	○	○	○
※ 振動規制法	○	○	○	○	○
※ リサイクル法	○	○	○	○	○
※ 自動車NOx・PM法	○	○	○	○	○
※ フロン排出抑制法	○	○	○	○	○
※ その他の関連法規遵守状況は、一元管理し チェックリストで確認した	○	○	○	○	○
訴訟の有無	○	○	○	○	○
お客様	苦情・トラブルその他、指摘はなし。				
近隣住民の皆様	苦情・トラブルその他、指摘はなし。				

9 《代表者による全体評価と見直し・指示》

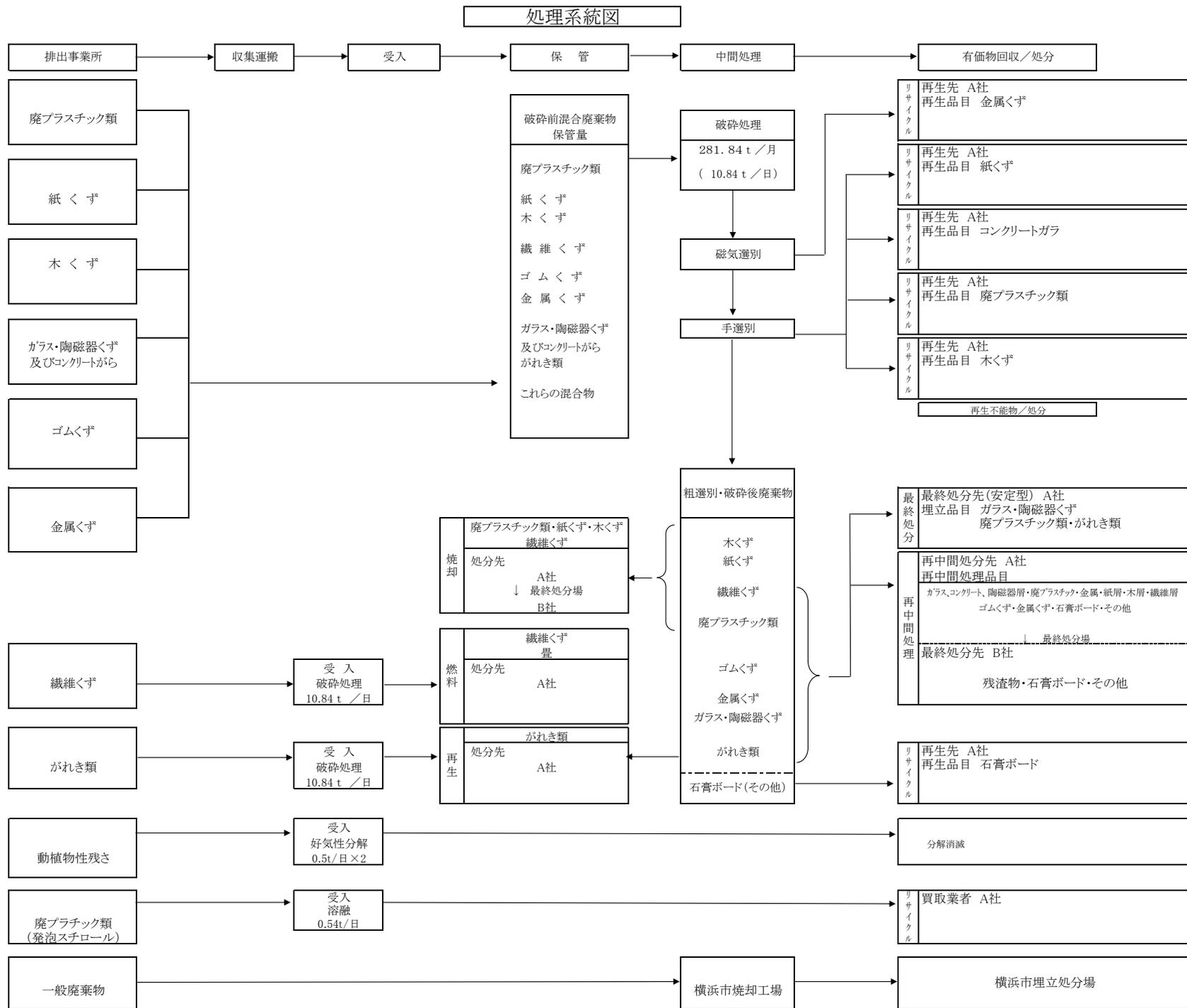
項目	内容
評価	
全体の評価	今後も継続して取組を実施し、環境負荷の低減に努めたいと思います。
見直し(変更の必要性・指示)	
環境方針の変更の有無	事業内容に変化はなく変更の必要性はない。
環境目標の変更の有無	引き続き、新型ウィルスの感染予防をしっかりと環境保全活動を進めてください。
環境活動計画変更の有無	概ね良好に推移しており決めた計画を確実に実行していく。
実施体制変更の必要性	現実施体制での変更の必要性はない。

許可の内容

事業の範囲	許可取得都市	許可番号	積替え許可の有無	許可年月日	産業廃棄物の種類																品目数	有効期限	
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鋳さい	がれき類	ばいじん			
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県	1402001974	無	平成28年1月30日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	令和8年1月29日	
	横浜市	第56-00-001974号	有	平成28年2月1日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	令和8年1月31日	
	東京都	第13-00-001974号	無	平成28年3月29日		●	●			●	●	●	●	●		●	●		●		10	令和8年3月28日	
	埼玉県	第1101001974号	無	平成28年4月19日		●	●			●	●	●	●	●		●	●		●		9	令和8年4月18日	
	千葉県	第1200001974号	無	平成27年12月12日		●	●			●	●	●	●	●		●	●		●		10	令和7年12月11日	
	栃木県	第0900001974号	無	平成31年2月18日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	令和11年2月17日
	茨城県	第0801001974号	無	令和元年5月23日		●	●			●	●	●	●	●		●	●		●		10	令和11年3月14日	
	静岡県	第2201001974号	無	平成31年2月16日						●	●	●	●	●		●	●		●		8	令和11年2月15日	
	群馬県	100001974	無	平成30年1月21日		●	●			●	●	●	●	●		●	●		●		10	令和10年1月20日	
処分業	横浜市	第56-20-001974号		平成27年10月1日						●	●	●	●	●	●	●		●		8	令和7年9月30日		
一般廃棄物収集運搬業	許可取得都市	許可番号		許可年月日	取扱廃棄物の種類																	有効期限	
	横浜市	第1072号		令和6年4月1日	一般廃棄物(ごみ(横浜市が収集するものは除く))以上1種類																	令和8年3月31日	
	川崎市	第0036号		令和4年10月1日	一般廃棄物(事業活動に伴って生じたものに限る)																	令和8年9月30日	

アーバントラスト(有)保有車両一覧

NO	車体形状	最大積載重量(kg)
1	脱着装置付コンテナ専用車	2,000
2	脱着装置付コンテナ専用車	2,000
3	脱着装置付コンテナ専用車	3,850
4	脱着装置付コンテナ専用車	3,900
5	脱着装置付コンテナ専用車	3,750
6	脱着装置付コンテナ専用車	4,000
7	脱着装置付コンテナ専用車	3,900
8	脱着装置付コンテナ専用車	3,750
9	脱着装置付コンテナ専用車	3,900
10	脱着装置付コンテナ専用車	3,950
11	脱着装置付コンテナ専用車	3,950
12	脱着装置付コンテナ専用車	10,900
13	脱着装置付コンテナ専用車	11,000
14	ダンプ	2,000
15	ダンプ	2,000
16	キャブオーバー	1,500
17	キャブオーバー	1,500
18	キャブオーバー	2,000
19	キャブオーバー	350
20	キャブオーバー	350
21	キャブオーバー(クレーン)	2,400
22	塵芥車	1,550
23	塵芥車	1,300
24	塵芥車	2,000
25	塵芥車	2,000
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		



受託した産業廃棄物の処理量

令和5年度（令和4年11月 ～ 令和6年3月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)
(i) 収集運搬	金属類		2,200
	プラスチック		8,786
	木くず		3,500
	ガラス陶磁器類		608
	紙類		311
	がれき類		1,020
	繊維くず		45
	混合廃棄物		683
収集運搬量合計			17,153
(ii) 中間処理	金属類	破碎・圧縮	2,933
	プラスチック		11,714
	木くず		4,667
	ガラス陶磁器類		810
	紙類		414
	がれき類		1,360
	繊維くず		60
	混合廃棄物		912
うち 再資源化等	金属類		2,933
	プラスチック		11,714
	木くず		4,667
	ガラス陶磁器類		810
	紙類		399
	がれき類		1,360
	繊維くず		60
	混合廃棄物		912
再資源化等量小計			22,855
中間処理合計			22,870

事業系一般廃棄物運搬量

令和5年度（令和4年11月 ～ 令和6年3月）

項目 内訳		令和4年度 (kg)	
廃棄物 排出量	一般 廃棄物	ルート回収可燃ごみ	6,738,000
		資源物	1,536,000
		段ボール	
		雑誌	
		新聞紙	
		発泡スチロール等	
一般廃棄物合計		8,274,000	

環境経営目標に基づき実施した取り組み内容

【献血活動】

CSR活動の一環として実施させていただいた献血はたいへん多くの協力をいただきました。



【地域美化活動】

